

こどものほん 新刊あんない

2024年 12月号



「ふしぎ ぞくぞく ぞくぞく かぞく」

大林 大//お話 かとう ひろゆき//絵 E 913オ ポプラ社 2024年10月発行

お父さんが言った「くも」をお姉さんは雲と思い、弟は蜘蛛と思う。同音異義語を楽しむお話。さすがにソッチの言葉でお話が進むことはないでしょう？と思ったら！？最後にゾクゾクするお話です。



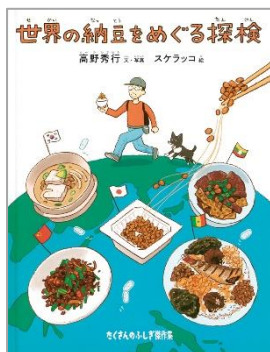
「ワニのクロコ」

アンドレス ロペス//作 宇野 和美//訳 E 963ロ BL出版

2024年10月発行

ジャングルに住むワニのクロコが深い穴に落ちてしまいました。穴から出る方法を動物たちがアドバイスしてくれるけど、全部うまくゆきません。かなしくなったクロコ。クロコは穴から出ることができるのでしょうか…。

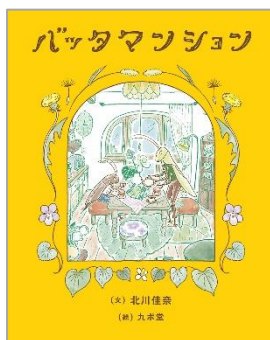
細長い本を縦開きにした装丁が効果的に使われている、メキシコのお話です。



「世界の納豆をめぐる探検」

高野 秀行//文・写真 スケラッコ//絵 K 383タ 福音館書店 2024年10月発行

「世界」の納豆？納豆って日本の伝統的な食べ物ではなかったっけ？驚いたことに、韓国や中国、ネパールなどのアジアの国々だけでなく、ナイジェリアなどアフリカの国々でも「納豆」は食べられているのです。「納豆」とは、稲わらにつく納豆菌だけでなく、いろいろな植物につく納豆菌で発酵させて作る食品なのです。一つの食材を切り口に様々な国の食文化を知る興味深い本です。



「バットマンション」

北川 佳奈//作 九波堂//絵 K 913キ アリス館 2024年9月発行

虫たちがくらす小さなマンション、通称「バットマンション」。このマンションに住む、心配性のキリギリスや恥ずかしがり屋のモンシロチョウたちが繰り広げる、愉快的な日常が綴られています。短い一つのお話の最後が次のお話にゆるやかに続いていくので、先が気になってどんどん読み進めていけそうです。漢字にはルビがついているので低学年のお子さんにも読みやすい本です。

※この他にも、あたらしい本がたくさんあります。くわしくは、「としょかんホームページ→WebOPAC 本をさがす→資料検索→新着検索→新刊検索または新着検索→子どもの本」をチェックしてみてくださいね。